

能登 いまい農場だより 9月号

収穫作業を始めています

お買い上げいただきありがとうございます。
7月中旬から8月中旬にかけ、すごい猛暑だったので、そのあげくがあるとは思っていたのですが、そのあげくが、今のこの時期か？と思わせるくらい連日雨がふっています。雨のあいだをぬって稲刈りという感じです。
それにしても、災害があちこちで起こっています。地震に大雨・台風被害、何十年に1回と言われる災害が頻繁に発生し、今度は自分のところかもと、思ってしまいます。
皆様、いかがお過ごしですか

■収穫作業

猛暑、大雨、そして台風を乗り越え、ようやく収穫の時期を迎えています。
早生種のハナエチゼンから刈り始め、米粉用の石川糯24号、能登ひかりと刈り取りが進んでいます。雨にたたられ、ぬかるんで、作業の能率が余り上がらないのですが

■私の集落も過疎化になりつつ

お盆過ぎに、区長である私宛に小田中のMさんの娘さんから電話がありました。それは、京都在住のMさんの娘さんが、高齢になった両親を京都に引き取るという話でした。もう一件、元お菓子屋さんで冬期間だけ、鏡餅など、正月用のお餅を何人かの顧客用に作るため、東京から車でこられていたのですが、今年から来ることをやめましたと言いにこられました。そして、お亡くなりになられた方も。

けっこう空き家が目立つようになりました。100戸以上あった集落も、10年後ぐらいには半数ぐらいになるかも。

石川県では「いしかわに戻ってこんけ？」と、Uターンの相談窓口を設けています。私の娘も都会からの移住者のための奥能登定住化機構の仕事を手伝っているのですが、中能登でも、人口減少の波が押し寄せています。

能登は、他の地域からみれば、案外災害の少ないところですよ。海の幸、山の幸に恵まれ、住めば良いところなのですが、.....

—